

名寄地区理事長杯 一般男子決勝 戦評

名寄籠友会	77	$\left\{ \begin{array}{l} 18 - 19 \\ 13 \quad 11 \\ 23 \quad 13 \\ 23 - 16 \end{array} \right\}$	59	アカゲラクラブ
-------	----	--	----	---------

第1ピリオド

名寄籠友会 竹内 荒 高橋 宮澤 目黒 対するアカゲラは 鯖戸 後藤 湯川 江口 平島のスタート、両チームハーフコートのマンツーマンディフェンスでゲームが始まった。名籠の 竹内 宮澤の長身者に対して、あえてセンターを外してスタートを組んできた、アカゲラの戦い方に非常に興味がある始まりとなった。

アカゲラは、後藤、平島の3Pで得点を奪うが、名籠も 高橋の速攻や、ドライブ 竹内のミドルシュートなどが決まり、一步も譲らない出だしとなった。名籠の 宮澤が、身長的なミスマッチをつき、ゴール下やリバウンドショットを重ね得点するが、アカゲラも 江口の巧みなステップインを含む6連続得点で頑張り18 - 19とアカゲラリードで第1ピリオドを終わった。

第2ピリオド

開始早々アカゲラ 平島の3Pが決まり、18 - 22と4点リードを奪う。しかしここから、名籠が 宮澤のゴール下2本 目黒の速攻 高橋のターンオーバーからの速攻と8連続得点し逆に26 - 22と逆転し4点差をつけた。しかしアカゲラも、負けじと 平島のミドル 鯖戸の連続3Pで、8連続得点し、30 - 26とした。最終的に名籠が 宮澤の5連続得点(フリースローを含む)で再再逆転し31 - 30 名籠1点リードで第2ピリオドを終わった。決勝にふさわしい、見ごたえのあるシーソーゲームとなった。

第3ピリオド

名籠 宮澤のターンショットで、後半が始まった。アカゲラも速攻で 鯖戸のアシストから 平島が得点し追いつがる。しかしここから、名籠は、竹内のドライブ、宮澤のバスケットカウント・ワンショット、坂口のゴール下で40 - 32と一気に8点差をつけた。アカゲラはその後、江口の巧みなショット等で、2点差まで追い上げるが、ピリオドの終わりに、坂口のミドルシュートと、竹内の3Pショットを含めた7連続得点などで 54 - 43と、この試合初の2桁得点差をつけて第3ピリオドを終えた。

第4ピリオド

何とか追いつきたいアカゲラは、平島のシュートから始まった。その後も 江口が巧みにシュートを決めるが、名籠のオフェンスを止めることができず、坂口のゴール下、高橋のドライブ、目黒の速攻と3Pなど、内・外・速攻と色々なパターンで得点を許してしまう。70 - 52と18点差のついたところで、アカゲラ 後藤が3P・ミドルシュート、江口がドライブと頑張るが、追いつくには至らず77 - 59でゲーム終了となった。

今回の大会の一般女子はリーグ戦ということもあり、を載せることができませんでした。申し訳ありません。

戦評 杉本 仁